

所属：人文学部・人文社会科学研究所 文化学科 アジア・オセアニア研究講座

教授 安食 和宏 (あじき かずひろ)

カテゴリ) 環境・エネルギー、農林水産(含食品)、歴史・社会・地理・文化

《一言アピール》 日本と東南アジアの村をフィールドにして、調査研究を行ってきました。住民の生活構造をふまえた上で、どうやって地域の活性化を図っていくか、どうやって経済問題と環境問題を調和させるかに関心があります。

研究テーマ

Research Themes

■ 日本農山村の社会経済と活性化に関する研究

日本の山村地域をフィールドとして、地域社会の構成や人々の就業状況の変化を調査してきました。それは、ムラ社会の視点から日本の地域構造をとらえる作業ともいえます。そして実践的活動として、人材育成事業を通して、地域活性化について考察してきました。

■ 東南アジアにおけるマングローブ林の利用・開発と保全に関する研究

熱帯の豊かな「海の森」といわれるマングローブ林に注目して、地域経済における重要性や、森林破壊に伴う問題点などを調査してきました。それは、日本と東南アジアの関連性を問い直すことにもつながります。

所属学会

- 日本地理学会 ■ 人文地理学会 ■ 経済地理学会
- 東北地理学会 ■ 林業経済学会 ■ 東北森林科学会
- アジア政経学会

三重大学全学シーズ集HPより →

応用分野

- 日本農山村の地域振興計画への貢献
- 農山村の地域活性化と人材育成事業への貢献
- 熱帯林環境問題に関する知識の普及



いかだ下りで地域活性化

講演実績

- 日本と東南アジアをむすぶエビの話(三重大学・志摩市文化フォーラム) 2009年
- マングローブの森の生態史(名古屋環境大学共育講座) 2006年
- マングローブ林と人々: 東南アジアの経済発展と環境問題(湖南省立甲西図書館講座) 2005年
- これからのまちづくり、ひとづくり(21世紀型まちづくり研修講演) 1999年

その他社会活動

- 三重県過疎地域対策研究会・座長(2007~2008)
- みえの舞台づくり百人委員会コーディネーター(2006)
- 三重県国土利用計画地方審議会・会長(2002~2007)
- 三重県総合計画審議会専門委員(1996~1997)
- 東紀州活性化大学コーディネーター(1995~2004)
- 津のまちときめきゼミナール企画委員(1995~2000)

著書

- 「朝倉世界地理学講座3. 東南アジア」. 朝倉書店(2009)(分担)
- 「現代東南アジア入門」. 古今書院(2003)(分担)
- 「マングローブなりたち・人びと・みらい」. 古今書院(2003)(共著)

論文

- 東紀州活性化大学の実験と実践—地域活性化の方法論についての一考察—. 人文論叢:三重大学人文学部文化学科紀要, 22: 219-232 (2005)
- フィリピン・レイテ島の農村集落からの人口移動について. 人文論叢:三重大学人文学部文化学科紀要, 21: 17-34 (2004)
- 熊野古道世界遺産登録に向けての課題について—訪問者と語り部の意識調査をもとにした考察—. 東紀州の文化・民俗学的研究, 60-94 (2003)

関連ホームページ

- 三重大学人文学部文化学科アジア・オセアニア研究(コース紹介)
<http://www.human.mie-u.ac.jp/gakubu/gakka/asia.html>
- 三重大学人文学部文化学科アジア・オセアニア研究(教員紹介)
<http://www.human.mie-u.ac.jp/gakubu/staff/asia.html>
- 三重大学教員紹介
<http://kyoin.mie-u.ac.jp/profile/2251.html>

☆詳細は、HPをご覧ください。